

P減少となっておりますが、依然として在職中から求職活動を行う方の割合が高い状況にあります。このように、在職者、自己都合離職者が7割以上を占めており、震災以降、いわき地域の労働市場では、有効求人倍率が高水準で推移していることもあり転職志向型の傾向が続いており、総じて人手不足の状況に大きな変化も見られず、今後も継続していくと見込まれています。

さらに、少子高齢化の進展は、若年労働力の確保に大きな影響を及ぼしており、新規高卒者への求人倍率は7年連続で2倍を超えるなど、求人を提出しても、思ったように採用に至らないという状況が発生しております。

このためハローワークでは、人材の確保や労働力の定着のため「魅力ある職場づくり」に向けた取組みを推進しているところです。まず、長時間労働を減らすこと、年次有給休暇取得促進などの「働き方改革」のほか、非正規労働者等の正社員等への転換・待遇改善や、多様な形態での正社員化（勤務地・職務限定正社員、短時間正社員）制度の導入、人材育成などに自主的に取り組んでいただき、雇用管理や労働条件面から、働きがいを感じ、また働きやすい安心・

安全な「魅力ある職場づくり」を進めていくことが大変重要なものと考えております。

この魅力ある職場づくりに取り組むことにより、応募者が「この会社で働いてみたい」と思える、従業員の方が「この会社ですっと働きたい」と感じられる、「働きがい」や「働きやすさ」を高める雇用管理改善が必要となりますし、現在、パートや契約社員、派遣社員などの正社員以外の働き方で働いている労働者を正社員に転換することも、人材確保の有効な手段と考えております。

これらの取組みを支援するための助成金制度（人材確保等支援助成金、キャリアアップ助成金）もございますので、貴協会による労務管理や安全衛生面への指導・助言などの取組みに加え、事業主の皆様により積極的な取組みによって、魅力ある職場づくりに取り組んでいただき優秀な人材を確保されますよう、さらには業績向上ともなりますよう是非とも積極的な御検討をよろしくお願いいたします。

終わりに、一般社団法人雇用管理協会並びに会員の皆様の益々のご繁栄を心より祈念申し上げます。

令和2年3月新規高等学校卒業者の求人・求職状況（いわき職安管内）

（令和2年1月末現在）

項目	年月	平成31年3月卒			前年同月	対前年比	
		合計	男子	女子		増減数	増減率（%）
卒業予定者数		2,917	1,412	1,505	3,028	▲111	▲3.7
就職希望者数		845	511	334	876	▲31	▲3.5
	県内希望者数	600	361	239	619	▲19	▲3.1
	県外希望者数	245	150	95	257	▲12	▲4.7
求人数		1,710			1,731	▲21	▲1.2
就職内定者数		824	500	324	857	▲33	▲3.9
	県内	581	351	230	601	▲20	▲3.3
	県外	243	149	94	256	▲13	▲5.1
求人倍率(倍)		2.85			2.80	0.05point	
就職内定率(%)		97.5	97.8	97.0	97.8	▲0.3point	
	県内	96.8	97.2	96.2	97.1	▲0.3point	
	県外	99.2	99.3	98.9	99.6	▲0.4point	
県内留保率(%)		70.5	70.2	71.0	70.1	0.4point	

（注）学校・ハローワークの紹介により就職を希望する生徒数を計上（縁故就職等を除く）